

イスラエルの大学に勤務している研究者に対して本学学生による研究活動妨害・嫌がらせについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2024年5月2日)

今日(五月一日)の正午頃に本学学生数名が百万遍交差点で立て看板を立て、演説をするのを見ました。立て看板に書かれた内容として、イスラエルのハイファ大学に勤務しているある研究者を本学の東南アジア研究センターが研究会のために招いてはならないという旨でした。SNSの「X」で検索したら、本学学生と名乗る方が似ているような内容を発信したのを見つけました。しかし東南アジア研究センターのホームページを見たら、イベント情報は削除されていたと思います。

イスラエルが国際法に反していると思われる戦争行為をしているだけで、その国の研究機関に勤務する無関係な研究者や本学の東南アジア研究センターに対してしつこく嫌がらせをし、不安を感じさせ、研究活動を無理やりに妨害する迷惑行為について、大学側には対策があるでしょうか？研究活動を一部の学生の政治観点によって左右させないように、大学としてどういう対策に取り組んでいるのでしょうか？

【回答】(回答日:2024年6月19日)

(回答部署:研究推進部研究推進課、教育推進・学生支援部学生課)

本学は、「研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う」と基本理念に掲げており、法令による制限があるものや本学の基本方針において懸念があるものを除いて、研究活動は各研究者の自由と考えます。特定の国・地域の研究者であるからといって、研究活動や研究交流が一律に制限されるものではなく、自由な研究活動等が行われる環境の確保が重要です。

ご意見いただいた当該行為の詳細は存じ上げておりませんが、法令や学内規定等に反する形での行為であれば、大学としましても当該事案に応じて学内通知や注意をするなどの対応を行うようにしています。